（講演資料）

2022年7月3日

元編集長が語る時刻表ウラ話　～鉄道開業150周年～

1. 時刻表（鉄道）の歴史

（1872.10.15）　　新橋―横浜間　鉄道開業（1日9往復）　開業式が14日

1873.9　　　　「鉄道貨物運輸賃銭表・列車時刻表」販売　　初の市販時刻表

　　（1889.7.1）　　　東海道本線・新橋―神戸間全通

　　　1925.4.1　　日本旅行文化協会から「汽車時間表」発売　（JTB時刻表の創刊号）

　　　1942.11月号　　時間表→時刻表、12時間表記→24時間表記に

　　（1949.6.1）　　　日本国有鉄道（国鉄）発足

　　（1964.10.1）　　東海道新幹線・東京―新大阪間開業

　　　1967.10月号　　A５判→B５判に　通巻500号

　　（1986.11.1）　　国鉄最後のダイヤ改正

　　　1987.4.1　　　 国鉄分割民営化　4月号から国鉄監修時刻表→交通公社の時刻表

　　（1988.3.13）　　青函トンネル開通（翌4.10瀬戸大橋開通）JR初のダイヤ改正

　　　2009.5月号　　創刊1000号

　　　2025.4月号　　創刊100周年（予定）

２. 時刻表の制作

　（1）基本は前月号のメンテナンス　改正号はスクラップ＆ビルト　頭切り(？)

　（2）STEPシステム（System of Time data Editting & Producting）とEdian　Wing

　（3）資料の入手　資料の形→ダイヤグラムではない、JRは紙、私鉄はメールが基本

　（4）データ入力、割当、ページアップ、校正（1ページに4人の目）、追加・訂正

３. 時刻表の見方　ウラとコツ

　 (1) 会社線・航空

　　　会社線は観光地中心・必要区間のみ、航空は国内線全便・国際線は日本発着便

　 (2) 列車配列の基準（左から右へ）⇔　割当　　右見て左見て

　 (3) 逆引きの原則（パソコン・スマホなどの検索システムにも応用）

　 (4) 接続の工夫　　東海道新幹線・新大阪駅、内房線・君津駅など

　 (5) 時刻表の買い時―臨時列車発表月（2月、6月、9月、11月号）とその翌月号

４.　時刻表あれこれ、時刻表のこだわり

　　・制作の難易度（資料の量、土曜休日ダイヤの有無、行き止まり線、割当の難易等々）

　　　北陸本線、鹿児島本線、田沢湖線、各新幹線　⇔　行き止まりローカル線、千葉

　　・第3種郵便　１㎏の攻防　軽い、強い、薄い　　昔一部を裁断したことも

　　　表裏ページの縦ケイ

　　・地図のこだわり　　線路の分岐方向・交差位置　　唯一の例外が宇多津駅

　　・ノドあけ　　割り当ての工夫

　　・時刻表の3大危機　　　戦中戦後　JR時刻表発刊　ネット検索

　　・秒単位は切り捨て　土曜休日（JRでは平日ということばは使わない）

　　・○○発×月△日運転 ⇔ ×月△日運転　　日またぎの列車の表現

　　・ネットや携帯のデータも紙の時刻表があればこそ

　　・日本人の国民性

５. これからの鉄道の話題

　(1)新幹線の今後

　・北海道新幹線（新函館―札幌・約212km）の開業は2035年度予定→2030年度に（政

府・与党による整備新幹線に関する作業部会での方針、5年前倒し）

新函館北斗、新八雲（仮）、長万部、倶知安、新小樽（仮）、札幌　※約8割がトンネル

並行在来線　函館本線・長万部―小樽間は廃線（？）

　・北陸新幹線（金沢―敦賀）開業は2025年度予定→2024年春に

　　金沢、小松、加賀温泉、芦原温泉、福井、越前たけふ、敦賀　　約125km

 金沢―敦賀間最速43分、各停タイプで1時間、大阪―金沢間が2時間3分程度に、

東京－福井間2時間53分（現在の米原乗り換えで3時間26分）

　　敦賀―京都間は小浜経由でルート決定、京都―新大阪間は松井山手経由の南回りルー

トで決定　ただし開業は2046年度？

　・西九州新幹線（九州新幹線・西九州ルート）・新鳥栖―武雄温泉―長崎間　うち武雄温

泉―長崎間66キロが2022年9月23日開業予定　愛称名は「かもめ」

（現在営業中のルートは正式には九州新幹線・鹿児島ルート）

西九州新幹線開業により長崎本線肥前鹿島―諫早間は当面（23年間）JR九州が運営

電化は一つ先の肥前浜までで肥前浜―諫早間は非電化区間となる

　　当初の予定では博多―新鳥栖間は現九州新幹線と共用、新鳥栖―佐賀―武雄温泉間は

　　在来線利用、武雄温泉―長崎間はフル規格新線。フリーゲージトレインによる運行を計

　　画していたが、開発の大幅な遅れで導入を断念。在来線と新幹線を武雄温泉駅で対面乗

　　り継ぎ方式で暫定開業。（かつての新八代駅と同様）

（新鳥栖、佐賀、肥前山口）、武雄温泉、嬉野温泉、新大村、諫早、長崎

博多―長崎間1時間50分～2時間　→　1時間20分程度に

　(2)今のうちに

　・特急「やくも」の381系電車、関西本線（大和路線）の201系など国鉄型車両

　・長崎本線の特急「かもめ」、北陸本線の特急「サンダーバード」など

　・留萌本線、木次線、芸備線（東城－備後落合間）、指宿枕崎線（指宿－枕崎間）　など？

　(3)新線・新駅・新列車関係

　 ・2022年10月1日　只見線復旧　会津川口―只見間　11年3ヶ月ぶり

・2023年3月開業予定　　宇都宮ライトレール・宇都宮駅東口―芳賀・高根沢工業団

　地　6～10分間隔　14.6km　将来宇都宮駅西口、東武宇都宮駅方面に延伸予定

・2022年度下期　相鉄新横浜線・東急新横浜線、羽沢横浜国大―新横浜―日吉間開業

　相鉄線方面→（ピーク1時間あたり10本、日中4本）プラス新横浜始発（ピーク時

4本、日中2本）→日吉→東横線（ピーク時4本、日中2本）・目黒線（ピーク時10

本、日中4本）　　　新横浜－渋谷30分　二俣川－目黒38分

・羽田空港アクセス線　　田町付近―東京貨物ターミナル―羽田空港新駅　2022年度着工、2029年度開業を見込む　東京駅―羽田空港 約18分（東山手ルート）

　　　　　このほか新宿―大崎―大井町―東京貨物ターミナル―羽田空港（西山手ルート）、新木場―東京テレポート―東京貨物ターミナル―羽田空港（臨海ルート）

・2020年 中央線快速にグリーン車2両連結（④⑤号車）→2023年度末に延期→2024

年度末（2025年3月頃？）に再延期

・地下鉄南北線・白金高輪―品川、地下鉄有楽町線・豊洲―住吉　延伸協議中

 ・2022年7月1日から　JR東海特急「ひだ」に新型車両　ハイブリッド方式HC85系

・北大阪急行・千里中央―箕面萱野（みのおかやの）　2.5km　途中に箕面船場阪大前（みのおせんばはんだいまえ）駅設置　2023年度

・2023年度　東海道貨物線・（仮）北梅田駅→大阪駅開業　「はるか」「くろしお」等が停車。関連する なにわ筋線（大阪―JR難波・南海新今宮）は2031年度　同時に阪急が大阪―十三―新大阪の新線を建設

・2024年度　大阪メトロ中央線・夢洲延伸　　コスモスクエア－夢洲　約3.5km

　　　　　2025年5月3日開幕の関西万博に合わせる

・2023年3月？　福岡市営地下鉄・七隈線　天神南－博多駅間延伸　1.4km

・2023年春　JR九州・日田彦山線BRTで復旧　添田―彦山―日田　彦山―宝珠山間は専用道

・2023年夏頃　南阿蘇鉄道復旧

・2027年　JR東海・リニア中央新幹線、品川―名古屋間開業　大阪までは2045年予

　定

以上